



終戦

昭和二十年（一九四五）八月十五日正午、昭和天皇は、ラジオ放送で、ポツダム宣言を受諾する旨を国民に告げた。この放送を聞いた国民の感想を『出水郷土誌』下巻からその一部を尋ねる。（原文どおり）

○終戦日は台湾（台北）カオシユン（高雄）市シヨウウシヤン（寿山）の高射砲陣地で兵役に就いていた。放送は直接聞かなかった。まさか負けるとは思っていなかったが、高雄港に上がる黒煙を見ていたので敗戦を事実と認めざるを得なかった思いであった。古兵の中には手榴弾で自決した者もいた。日本人は職場を追われ、引き揚げるべくタイペイ（台北）市へ集結。翌年三月二十八日キールン（基隆）港から引揚船に乗船、三十一日鹿児島港に上陸した。山下常三（高尾野町在住）

○放送は、勤めていたチツソ水俣工場の裏山に掘られた横穴防空壕の中で、同僚たちと一緒に聞いた。まさか、戦争に負けるとは思っていなかった。周囲は皆呆然としていた。なお、八月九日長崎に原子爆弾が投下された時の光線と原子雲は水俣工場からも確認できた。花園弥右衛門（水俣市在住）

○終戦は、ハワイの收容所で、番兵たちがサイレンの音と同時にヘルメットを空高く投げ上げながら、「戦争が終わった」と喜び合っているのを見て知る。昭和二十一年十二月六日、捕虜收容所から引き揚げ復員する。復員したら、既に戦死の報が届き、五月十日に出水町公会堂で町葬が行われ、墓石もできており、戸籍も抹消されていた。宇都口虎雄（出水市在住）

○終戦の時は、下古市の実家にいた。放送はラジオがなかったのだから聞けなかった。親戚の家で初盆があり、そこで、「娘たちは早く逃げないと米兵が来るぞ」という流言蜚語に脅かされ、荷車に家財道具を満載して樋之谷に逃げた。どの家も同じように、親戚や知人宅を頼って逃げたので家の中は空っぽになり、一週間ほど経って家に帰ってみたら、米や麦等全部盗られていた。

浦崎キミエ（出水市在住）

○終戦の放送は自宅のラジオで聞いた。父が昭和二十年終戦直前召集され、九月には戦死した。それを境に家庭の悲運が始まり、幼い一家の大黒柱にされた。松尾茂（出水市在住）

○終戦の放送は家にラジオが無かったので、聞かずじまいだった。八月十五日は丁度お盆だったので、昼は家で「盆ダゴ」を作ったりして過ごしていた。夜になって、飛行場の兵隊たちが、「アメリカ兵たちが来る」と民間人より先に逃げてきた。荷車に荷物を満載し、背中に背負ったりした人達が、私達の村を通り、芭蕉や大川内の方にと道に溢れていた。私達も遅れないようにと、持てるだけの荷物を持って芭蕉まで行き、一晚を過ごした。何事も無かったので、十六日の朝からほとんど家に帰る人や荷車で大変な騒ぎだった。金丸一世（出水市在住）

○父が、今日、十二時に玉音放送があるので、着物（たいした着物は持っていなかったが）を着替えてついていこうと言っているので、集落に一軒しかないラジオのある家の裏庭で、数人の人達と玉音放送を聞いた。「忍び難きを忍び、堪え難きを堪え……」みんな涙して黙っていた。と、誰かがつぶやいた。「日本は負けた、戦争は終わった、無条件降伏だ」と。その時、自分は五歳三か月であった。長兄の戦死公報はその年、四月二十四日で二十六歳の若さであった。長兄が出征したのは、自分が生まれて一週間目で、自分の手を握って「ふとなつとれよ」と言って別れたとか。一体、何のための戦争だったのか、五十四歳の今でも苦しむ。八月の青田の上を当時の練習機の赤トンボのように、戦争で亡くなった多くの人々の霊を乗せて、赤トンボが夕陽に映えて静かに流れ去っていく。（昭和二十年特集「戦争を語る」岩下寿一『広瀬川』第三号から）



August

8月

2019年

二十四節気 立秋(8月8日) 処暑(8月23日)

キーワード 帰省・お盆・夏祭り・終戦・花火・夕立

蝉時雨・朝顔・ひまわり・西瓜



月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
			夏の省エネ 総点検の日 肺の日 水の日	おやつの日 ホコ天記念日 博多人形の日	ハサミの日 はちみつの日 ハモの日	栄養の日 橋の日
5	6	7	8	9	10	11
ハコの日 タクシーの日 草田男忌 (中村草田男 1983)	広島平和記念日 ハムの日 太陽熱発電の日	鼻の日 バナナの日	そろばんの日 親孝行の日 ひょうたんの日 國男忌 (柳田國男 1962)	長崎原爆の日 世界の先住民の 国際デー 野球の日 ムーミンの日	道の日 宿の日 西鶴忌 (井原西鶴 1693)	山の日
12	13	14	15	16	17	18
振替休日 国際青少年デー 航空安全の日 健次忌 (中上健次 1992)	函館夜景の日	水泳の日 専売特許の日	終戦記念日 刺身の日	女子大生の日	プロ野球 ナイター記念日 荒磯忌 (高見順 1965)	高校野球記念日
19	20	21	22	23	24	25
バイクの日 俳句の日 世界人道デー 義秀忌 (中山義秀 1969)	NHK創立記念日 交通信号の日	献血の日 噴水の日	チンチン電車の日 藤村忌 (島崎藤村 1943)	白虎隊自刃の日 奴隷貿易とその廃止 を記念する国際デー くちなし忌 (中野重治 1979)	薬害根絶デー ラグビーの日	パラスポーツの日 即席ラーメン記念日
26	27	28	29	30	31	
「男はつらいよ」の日	ジェラートの日	民放テレビ スタートの日 バイオリンの日 気象予報士の日	核実験に反対する 国際デー 焼肉の日 ケーブルカーの日	強制失踪の被害者の ための国際デー 冒険の日	野菜の日	

運動・週間

- 水の週間(8月1日~7日)
- 世界母乳育児週間(8月1日~7日)
- 北方領土返還運動全国強調月間(8月1日~31日)
- 食品衛生月間(8月1日~31日)
- 海の夏季安全推進活動期間(8月1日~31日)
- 秋の睡眠健康週間(8月27日~9月10日)



8月のできごと

- 日本初、裁判員制度の裁判による初公判(2009年8月3日)
- 日本初の「ピヤホール」が開業(1899年8月14日)
- 日本で国旗国歌法公布・施行(1999年8月13日)
- 壺井栄生誕120年(2019年8月5日)
- 津田梅子没後90年(2019年8月16日)
- 『男はつらいよ』公開から50年(2019年8月27日)

作家の命日・8月

- 1日 阿久悠 2007年 15日 さくらももこ 2018年
- 2日 赤塚不二夫 2008年 17日 島木健作 1945年
- 3日 阿川弘之 2015年 18日 深沢七郎 1987年
- 4日 松本清張 1992年 30日 有吉佐和子 1984年

主な文学賞 (18年度実績)

- 小林秀雄賞 新潮ドキュメント賞
- 谷崎潤一郎賞 中央公論文芸賞

**8月の
研修室
使用予定**

下記時間帯は中央図書館研修室で、講座やサークル活動などが開催されます。

これ以外の時間帯が持ち込み資料自習利用時間帯となります。

- 8月 4日(日)午前・・・図書館を使った調べる学習講座(図書館主催)
- 8月 10日(土)午後・・・出水論語塾(図書館主催)
- 8月 18日(日)午前・・・図書館を使った調べる学習講座(図書館主催)

中央図書館	電話0996-63-2105	今月の休館日は19日(定期)
高尾野図書館	電話0996-82-5452	” 16日(定期)
野田図書館	電話0996-84-3100	” 16日(定期)

メールアドレス izumilibrary@iaa.itkeeper.ne.jp <https://www.izumi-library.com>